

# G.C.I. news

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN  
TEL.+81-572-22-5381 / FAX.+81-572-25-1163  
URL:<http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>  
Mail:[info@ceram.rd.pref.gifu.jp](mailto:info@ceram.rd.pref.gifu.jp)

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute  
**岐阜県セラミックス研究所**  
since 1911 TM

## ■「平成28年度中小企業技術者研修」を開催します

粒子の水中での分散技術は、原料の粉碎・坏土作製、鑄込み成形時の泥漿調整、釉薬作製等、様々な製造プロセスで使われています。陶磁器・セラミックス製品にとって分散技術は最終製品の良し悪しを左右する重要な技術のひとつでもあります。

そこで、中小企業の技術者の皆様に、分散技術に関する技術力向上の一助としていただくため、下記のとおり中小企業技術者研修を企画致しました。この機会に是非ご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

- 研修日時：平成28年11月7日(月)・11月9日(水)・11月10日(木)  
各回とも 18:30～20:30
- 研修場所：岐阜県セラミックス研究所講堂(多治見市星ヶ台3-11)
- 受講対象：県内中小企業者又はその従業員
- 定員：20名程度(受講者多数の場合は、受講者数を調整させていただく場合がございます。)
  
- 研修内容：11/7(月)「分散の基礎からセラミックス成形への応用(仮)」  
講師：名古屋工業大学先進セラミックス研究センター教授 藤正督氏  
11/9(水)「セラミックスの粉碎・分散技術(仮)」  
講師：アシザワ・ファインテック(株)業務推進役 長井明氏  
11/10(木)「微粉碎・分散、及び造粒の結果を評価する最新計測技術(仮)」  
講師：マイクロトラックベル(株) 営業推進室 恩田真吾氏
  
- 受講費用：1名につき 1,280円程度  
受講料の納入は、受講決定後に送付する納入通知書により、11月4日(金)までにお願います。  
なお、受講決定後のキャンセルは承りかねますので、日程等十分に確認のうえ、お申込み頂きますようお願いいたします。
  
- 申込方法：当所HP掲載の申込書にご記入の上、10月12日(水)までにFAXまたは郵送にてお申し込み下さい。  
定員に達しご参加いただけない場合は連絡いたします。
  
- 申込先：岐阜県セラミックス研究所  
〒507-0811 岐阜県多治見市星ヶ台3-11  
電話：(0572)22-5381 FAX：(0572)25-1163 (研修担当：立石・尾畑・篠田)

しよんずい  
 ■「祥瑞の技法を学ぶ講座」を  
 開催しました

平成28年8月26日(金)、9月2日(金)、9月9日(金)、9月16日(金)の4日間にわたり、当所講堂において、「祥瑞の技法を学ぶ講座」を開催しました。

この研修は、毎年当所で行われている「染付け研修」の一環として実施されたもので、今回は、器に幾何学模様などを細やかに描き込む「祥瑞」の技法をテーマにしたものです。東洋の雰囲気醸し出す模様で、輸出陶器に活用できないかという意図により企画しました。



講師には、中津川市蛭川在住で、多治見市内の陶磁器商社でのデザインを手掛けた後、現在は独立して陶磁器デザイナーとして活躍中の、瀬瀬保男氏をお招きしました。

祥瑞は、市松模様や青梅波などの小紋を呉須で絵付けた磁器であり、今回は、小紋の展開や道具の使い方を学びながら、現在のライフスタイルにアレンジする実践的な内容となりました。



せいせつき  
 ■「夏休み親子体験教室」を  
 開催しました

平成28年7月24日(日)に、精炆器研究会・幸兵衛窯作陶館・当所の共催で、幸兵衛窯作陶館において「夏休み親子体験教室～精炆器をつくろう～」を開催しました。

この教室は、小学生の児童とその保護者を対象としたもので、「精炆器」の絵付け・加飾を体験してもらおうと企画したものです。



「精炆器」は風合いのある黄色みを帯びた、きめ細かい肌に化粧をまとい、高度な装飾技法で見るものを魅了する美濃の焼き物です。

参加者の方々には、皿や茶碗の形をした精炆器へ化粧掛けや絵付けを施してもらい、出来上がった作品は、後日焼成して持ち帰りいただき、大好評でした。

